

令和5年度事業報告書

公德学園

1. 対象者処遇

(1) 処遇内容

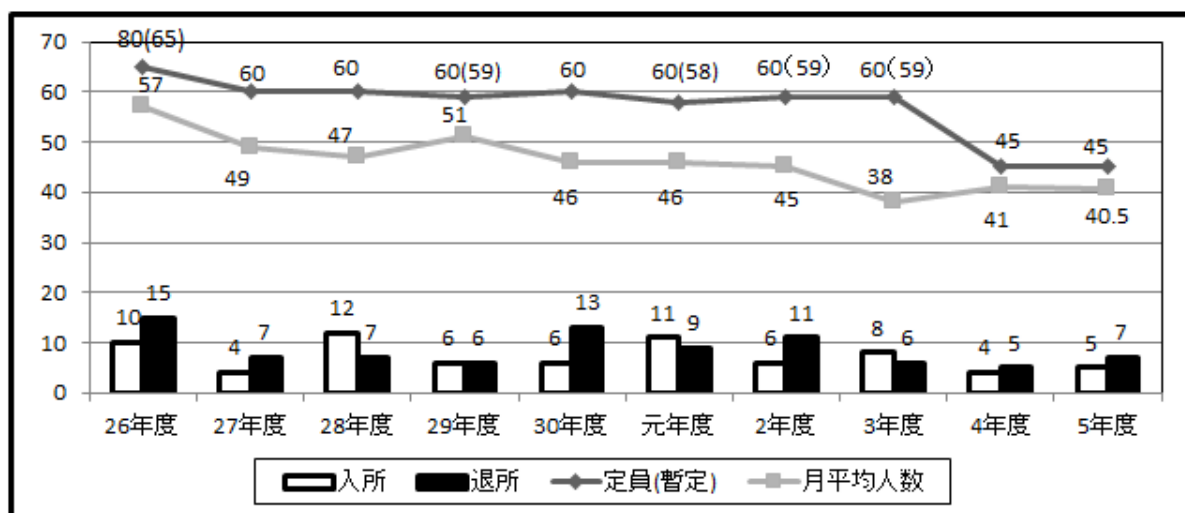
当園の処遇重点目標である『安全と自立』に基づき、子どもたちが安全で安心して生活できる環境を提供すると共に、自立に向けての様々な援助を行った。

コロナウイルス感染症が2類から5類へと移行し、従来通りの行事を徐々にではあるが行うことができた。流行期にはコロナウイルス感染症や、インフルエンザの罹患者を出すこともあったが、施設全体に蔓延させることなく、短期間で終息することができた。

- ① 今年度より中高生主体の小規模グループを2グループから4グループ（男女各2グループ）に増やし、より家庭的な生活環境の中で、子どもたちが自立に向けた様々なスキルを身につけられるようケアを展開した。
- ② 中舎制のグループは主に幼児・小学生で構成し、一人ひとりの年齢・特性に合わせた形でケアを行った。居室も個室化が進み、よりプライベートな空間を提供することができた。
- ③ 中高生に対して自立に向けての職業指導プログラムを実践した。
- ④ 被虐待等、より心理的ケアが必要な子どもに対して、臨床心理士によるセラピーを実施した。臨床心理士と直接処遇職員による連絡会を定期的実施し、連携を図った。
- ⑤ 給食については、季節感や行事食をとり入れ、変化に富んだメニューを提供した。更に栄養バランス・食事摂取基準を考慮し、子どもたちの発育を促した。
- ⑥ 中高生による自主活動委員会が中心となり、職員のサポートのもと、園内行事（子どもの広場）を計画した。また、グループごとに行事を計画立案し、日帰り旅行・バーベキュー・グループ夏祭りなどを実施した。

(2) 児童状況

児童定員 45 名に対して月平均在籍児は 40.5 名であった。入所児 5 名、退所児 7 名。一時保護委託児は 5 名（延べ 106 日）を受け入れた。



(3) 年間実施行事

4月	20日	保育室健診	10月	11日	保育室健診
	26日	防災設備点検・避難器具訓練		15日	東大阪施設会合同運動会
				25日	防災設備点検・避難器具訓練
				30日	保育室遠足
5月	5日	こどもの日	11月	8日	保育室健診・職員定期健康診断
	10日	保育室健診		15日	創立100周年記念パーティー 作品鑑賞会
	21日	神戸どうぶつ王国招待		16日	保育室歯科検診
				25日	子どもの広場
6月	1日	保育室歯科検診	12月	13日	保育室健診
	14日	保育室健診		17日	未来っ子カーニバル
	22日	健康優良児表彰		20日	クリスマスタ食会
				29日	餅つき
				30日	除夜の鐘
7月	5日	保育室健診	1月	1日	新年の挨拶
	7日	七夕		10日	保育室健診
8月	7日 8日	目で見ると自然教室	2月	3日	節分
	9日	保育室健診		7日 14日	CAP ワークショップ
	13日	保育室健診		14日	保育室健診
	21日	東大阪施設林間		25日	赤十字冬の集い
	23日	除草作業			
	23日 24日	地藏盆			
	26日	交歓ソフトボール大会 (優勝)			
9月	13日	保育室健診	3月	2日	ふれあいホリデー
				3日	ひなまつり
				13日	保育室健診
				15日	保育室園外保育
				18日	卒園・卒業祝会
				25日	離着任式
				26日	児童・職員定期健診
				27日	縁日慰問

2. 施設運営全般

(1) 施設運営業務

① 苦情解決システム

意見箱を設置し、入所児・保護者等から意見を聞き、リーダー会議にて随時協議、対応した。又、第三者委員に報告し、助言・指導をもらった。

② ヒヤリ・ハット制

職員から処遇上危険を感じた事例を職員会議等であげ、職員間で共有し、事故を未然に防ぐ対策を講じた。

③ 情報開示

全社協・経営協・東大阪市のインターネット上に法人調書・会計状況の開示を行った。

④ 職員の資質向上

職員の資質の向上、専門性の向上のため、研修計画に基づき研修に取り組んだ。

◎園内研修

階層別研修	各階層ごとのテーマ
人権研修	子どもの人権・施設内虐待防止
処遇研修	子どもとの関わりについて、防災について
OJT 研修	日々の業務の中で各部署責任者が職員に対して実施

◎新任職員研修

次年度採用者に対して、就職前に非常勤職員として雇用し、実際の業務を通じて、援助技術等の習得を図った。

⑤ 新型コロナウイルス感染予防対策

施設独自の指針を作成。状況に応じて更新し、対象者の感染予防対策を行った。

(2) 地域福祉サービス

【ショートステイ(子育て短期支援事業)】

一般世帯の子どもについて、レスパイト(養育休養)等の理由で、7名(延べ32日)のショートステイを受け入れ、地域の福祉ニーズに対応した。

(3) 社会貢献事業

【子どもの広場】

施設を開放し、行政・学校・ボランティア団体・子どもの友人等を招待し、地域交流のためのイベントを開催した。

(4) 環境整備

① 男子棟・女子棟改修工事

入所児のグループ(生活単位)を小規模グループ2か所から4か所に増やすにあたり、男子棟・女子棟の改修を全額自己資金にて行った。

〔事業費総額〕 12,650,000 円

〔請負業者〕 竹田義建築

- ② ホームページ開設
創立 100 周年記念事業として、当園ホームページを開設した。
〔事業費総額〕 253,000 円
〔請負業者〕 清水香苗（個人事業主）
- ③ 新型コロナウイルス感染予防対策
新型コロナウイルス対策補助金（大阪府）を活用し、マスク・消毒液等、感染対策に必要な衛生用品を購入し、入所児等の感染予防の徹底を図った。
- ④ 防災対策
毎月避難訓練・消火訓練を実施し、児童・職員共、防災意識を徹底した。
自主防衛組織を作り、各所点検を行った。
防災設備業者（カワチ設備）による防災設備の点検を行った。
国の補助金を活用して、災害用の備品・調理用品等を購入した。

（5）その他継続した事業

- ① 地域活動への参加（小中学校地区活動、地域防犯・青年会活動）
- ② 実習生の受け入れ
5 校 17 名（延べ 204 日）、その他 4 名（延べ 14 日）
- ③ ボランティアの受け入れ（延べ 3 団体 37 回）
- ④ 卒園生へのアフターケア（社会に適応できるように悩み相談・自立支援等）
- ⑤ 『学園だより』を毎月発行し、保護者・関係機関等に施設・児童状況を知らせた。
また、学園ホームページを新たに開設し、園内の情報を広く世間に発信した。
（毎月発行の『学園だより』を電子化した。）